

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第4学年

【単元名】 「即興リズムダンス」 （F 表現運動 イ リズムダンス） （7時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び運動〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕	学びに向かう力・人間性等
リズムダンスの行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。	運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたこと。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：ロックやサンバなどの軽快なリズムで即興的に友達と一緒に踊った（小学校第2学年）

働かせる見方・考え方：自己の心身を解き放して、リズムの世界に没入して互いのよさを生かし合って友達と交流して踊る楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた多様な関わり方（する・みる・支える・知る）と関連付けること。

段階	学習活動（時間）	留意点
はじめ	1 学習の進め方を知り、学習の見通しをもとう。（単元のオリエンテーション）（1）	<p>単元の学習の見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ これまでに踊ったダンスを振り返り、実際に踊る中で児童が願うダンスはどんな動きなのかを具体的にした上で単元の目標を決める。 <p>単元の目標：曲のリズムに乗って、体を大きく使って即興でダンスを踊ろう！</p>
なか	<p>2 いくつかのダンスから動きを取り入れて踊ろう。（2） （「USA」「ヤングマン」「UFO」「ジンギスカン」）</p> <p>3 取り入れた動きを組み合わせ、リズムに乗って踊ろう。（2） （「ダンシング・ヒーロー」）</p> <p>4 曲のリズムを捉えて、即興的に踊ろう。（1）（「5・6・7・8」）</p>	<p>基礎基本の確実な習得を図る場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 多くの児童が知っている曲を流して既存の動きをみんなで踊るよう環境設定をする。 ☞ 「まねっこタイム」を位置付けて、工夫した動きや体を大きく使った動きで踊っている児童を紹介し、動きのレパートリーを増やしていくようにする。 <p>自他の課題解決に向けて協働的に学ぶ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 初めて聞く曲で、どんな動きができるかグループの友達に伝えながら踊る場を設定する。 ☞ 交流する場を設定し、曲のリズムを捉えた動きで即興的に踊っている児童を紹介し、全体に広げていく。
まとめ	5 単元を振り返ろう。（1）	<p>自己の学びや変容を自覚する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 一人ひとりの技能の高まりを実感できるように交流する時間を設け、技能面の成果を振り返るとともに、友達との関わり合いのよさを実感できるように意識する。

次単元へのつながり：現代的なリズムのダンスで、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊る。（中学校第1学年）